

平成26年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰
被表彰者

【保全活動部門(22件)】

	被表彰者	功績概要
1	あべ よしたか 阿部 義孝 (北海道)	石狩浜における海浜植物の生育状況調査、植生回復に向けた増殖試験に取り組むとともに自然観察会を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
2	ふかうらちょうりついわさきちゅうがっこう 深浦町立岩崎中学校 (青森県)	白神山地の麓に位置する十二湖周辺において、ブナ林を中心とした森林の状況を調査・研究するとともにその成果を発表するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
3	かまた こういち 鎌田 孝一 (秋田県)	岳代(だけだい)及び田苗代(たなしろ)湿原周辺のブナ林保全に取り組むとともに、白神山地において美化清掃や自然解説を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
4	おかわぐみやこたなごほぞんかい 岡和久ミヤコタナゴ保存会 (栃木県)	ミヤコタナゴの生息環境を守るために、水路の巡視や定期的な草刈りを実施するとともに、水路の泥上げ作業や外来生物の駆除を行うなど、自然環境の保全に尽力。
5	しらねあおいをまもるかい シラネアオイを守る会 (群馬県)	日光白根山においてシラネアオイ群落を保護するために地域住民と協力して、苗の植栽、登山道の美化清掃、ロープ柵の修繕に取り組むなど、自然環境の保全に尽力。
6	ぐんまけんりつ おぜこうとうがっこう 群馬県立 尾瀬高等学校 (群馬県)	
7	ひしぬま ようじろう 菱沼 要治郎 (埼玉県)	秩父多摩甲斐国立公園等において、有害鳥獣捕獲や特定外来生物であるアライグマの駆除を行うとともに、キジ・ヤマドリ的人工増殖とその放鳥に取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
8	らぶ・じ・あーす じっこういいんかい ラブ・ジ・アース実行委員会 (東京都)	年2回の海岸清掃イベントを企画した上で地域住民等と協力して取り組むとともに、その趣旨及び成果を社会、特に若年層に向けて広く発信するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
9	おおそね ひろし 大曾根 弘 (神奈川県)	丹沢大山国定公園等において、清掃活動や植樹に取り組むとともに、安全に登山するための指導を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。

10	さわさと こうきち 澤里 幸吉 (神奈川県)	永年にわたり、箱根町において、登山道の補修や美化清掃に取り組むとともに、ハイキングのガイドとして人・自然・文化に及ぶ幅広い情報を発信するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
11	みかたごしぜんさいせいきょうぎかい 三方五湖自然再生協議会 (福井県)	ラムサール条約湿地に登録された三方五湖において、地域の関係者と連携し、魚介類の生息に適した自然護岸の再生等に取り組むとともに、子どもたちを対象とした自然体験学習を実施するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
12	ゆもと みつこ 湯本 光子 (山梨県)	山梨県内において、両生爬虫類を中心とした野生動植物の分布調査活動に取り組むとともに、その知見を活かして自然環境行政への専門的助言並びに森林インストラクターとして自然観察会を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
13	いのちをつなぐぶろじえくと がくせいじっこういんかい 命をつなぐPROJECT 学生実行委員会 (愛知県)	知多半島臨海部の企業緑地において地域住民や企業等と連携して生きものの生息空間を再生する活動に取り組むとともに、生物多様性の重要性を発信するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
14	とくていひえいりかつどうほうじん うえやまこうげんえこみゅーじあむ 特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム (兵庫県)	上山高原において、ブナやススキ草原の復元を進めるとともに、地域住民ほか多様な主体が参画する自然再生活動や自然観察会に先導的立場で取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
15	だんぎよかいはつくみあい 断魚開発組合 (島根県)	永年にわたり、断魚溪(だんぎよけい)において、美化清掃や登山道の整備、地域の小学生を対象とした自然解説に取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
16	しんじょうしぜんほごれんらくきょうぎかい 新庄自然保護連絡協議会 (岡山県)	大山隠岐国立公園において、ウスイロヒョウモンモドキの保護を目的に、食草であるオミナエシ等の植生管理として草刈作業に取り組むとともに個体数調査を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
17	いよのう きしょうしょくぶつぐん ほぜんぶろじえくとちーむ 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム (愛媛県)	松山市とその近郊において、希少な海浜植物の保全・再生を進めるとともに、地域の関係機関と協力してメダカやアカウミガメの保護に取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
18	こがし ふるさとのもりづくりきょうぎかい 古賀市ふるさとの森づくり協議会 (福岡県)	古賀市内の竹林を多様な樹木が茂る豊かな樹林として再生させるために、10年間で約19,000名のボランティアの参加を得て、植樹と育林に取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
19	しゅうしのもりづくりすいしんいんかい 舟志の森づくり推進委員会 (長崎県)	対馬市において、ツシマヤマネコをはじめとする生物多様性に配慮した森づくりとして、地域の関係者が一体となって、広葉樹の植樹、間伐、エサ場となる湿地の整備に取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。

20	とくていひえいりかつどうほうじん あそはなの きょうかい 特定非営利活動法人 阿蘇花野協会 (熊本県)	阿蘇において、ハナシノブやヒメユリなどの保全・再生を目的として、野焼きや草刈りに取り組み草原を再生させた上、自然観察会を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
21	うの のりみつ・うの きみこ 宇野 教光 宇野 公子 (熊本県)	阿蘇において、私有地をもつばら野生植物の保全活動のために活用し、草刈りや草集めといった管理活動を実施することでハナシノブをはじめとする希少な植物の生育環境維持に貢献するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
22	とくていひえいりかつどうほうじん とくのしまにじ のかい 特定非営利活動法人 徳之島虹の会 (鹿児島県)	徳之島において、希少な動植物の盗掘や不法投棄を防止するためにパトロールを行うとともに、美化清掃、生物多様性に関する写真展を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。

【いきもの環境づくり・みどり部門(3件)】

23	りばーさいどふえにつくす ごるふくらぶ リバーサイドフェニックスゴルフクラブ (埼玉県)	永年にわたり、地域の河川敷等における緑化植樹・環境整備、緑化の普及啓発に貢献するなど、みどりの普及等を推進。
24	くによし しょうぞう 國吉 昌三 (千葉県)	永年にわたり、野生鳥獣の生息調査、傷病鳥獣の救護に取り組むなど、野生鳥獣の生息環境づくりに尽力。
25	なるとしくわじましようがっこう 鳴門市桑島小学校 (徳島県)	永年にわたり、鳴門公園において自然観察会を行うとともに、ウバメガシ等のドングリを拾い集め、学校での植付け・育樹を経て再び同公園に植樹するなど、生物の生息環境づくり及びみどりの普及に尽力。

【自然ふれあい部門(7件)】

26	くしろしつげんこくりつこうえん ぼらんでいあれん じゃーのかい 釧路湿原国立公園ボランティア・レン ジャーの会 (北海道)	永年にわたり、釧路湿原国立公園において、美化清掃を実施するとともに、利用者への自然解説や特定外来生物であるウチダザリガニ等の調査・防除活動に取り組むなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
27	みゆーじあむぱーく いばらきけんしぜんはくぶつ かんぼらんでいあ ミュージアムパーク茨城県自然博物館 ボランティア (茨城県)	永年にわたり、博物館で開催される自然体験イベントを補助するボランティア活動に取り組むことを通じて、地域における環境教育の推進に貢献するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
28	さくらい しょうきち 櫻井 昭吉 (新潟県)	永年にわたり、尾瀬国立公園、越後三山只見国定公園を中心に登山道の整備や安全登山の指導に取り組むとともに、利用者に対して自然解説を行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。

29	じょうはななちゆらりすとけんきゅうかい 城端ナチュラリスト研究会 (富山県)	ミズバショウの群生する縄ヶ池(なわがいけ)周辺で、水路の整備、観察路の草刈り等に取り組むとともに、地域の住民や小学生へ自然解説を行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
30	しばた りょうしゅん 柴田 亮俊 (福井県)	永年にわたり、敦賀市内の小中学校で自然講習会を行うとともに、池河内(いけのこうち)湿原をはじめ、市内各所において自然観察会の講師を務めるなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
31	さかもと いさお 阪本 伊三雄 (京都府)	永年にわたり、宇治田原町において河川の水生物や森林の植生に関する調査に取り組むとともに、子どもを対象としたゲンジボタルの鑑賞会を開催するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
32	みささちょうりつひがししょうがっこう 三朝町立東小学校 (鳥取県)	永年にわたり、三徳川源流域において広葉樹の植栽を行うとともに、フッポウソウの保護を目的とした巣箱の設置、水質調査、学校周辺における希少な動植物の発見、観察・保護に取り組むなど、自然とのふれあい活動に尽力。

【調査・学術研究部門(5件)】

33	ほうじょう ひろし 北條 浩 (東京都)	永年にわたり、森林や川、地下資源に関する研究に取り組むとともに、全国各地の温泉を訪れ、温泉資源の保護において指導的な役割を果たすなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
34	ゆい まさあき 油井 正昭 (東京都)	永年にわたり、自然公園における景観管理や環境保全のための土地利用計画、各国の国立公園と自然保護地域の設定状況に関する研究に取り組むとともに、これらの知見を活かして自然環境行政への専門的助言を行うなど、自然環境の調査研究に尽力。
35	たかぎ まさき 高木 政喜 (石川県)	永年にわたり、石川県内各地に生育する絶滅危惧植物の植生調査や里山における生物多様性に関する調査を行うとともに、自然観察会の講師を務めるなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
36	まえだ きしお 前田 喜四雄 (京都府)	永年にわたり、コウモリ類の生態調査や分布調査を行い、数多くの研究論文を執筆するとともに、生物多様性の保全に果たす役割を一般に向けて情報発信するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
37	いわもと としたか 岩本 俊孝 (宮崎県)	宮崎県内の砂浜に上陸するアカウミガメの産卵に関する研究や保護活動、オキナワキノボリトカゲが生態系に与える影響の解明などに取り組み、これらの知見を活かして自然環境行政への専門的助言を行うなど、自然環境の調査研究に尽力。